

第4回経済常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	平成26年 6月18日(水曜) 13時30分 開会		
	休憩 13:43-13:43		
	13時55分 閉会		
会議場所	役場3階 第1委員会室		
出席委員 氏 名	委員長 常通 直人	委 員 正村紀美子	議長 広瀬 重雄
	副委員長 齋藤 幸子		
	委 員 小椋 孝雄		
	委 員 柴田 正博		
欠席委員 氏 名			
会議に出席 した説明員			
事務局職員		事務局次長 剣持和裕	書記 大石真澄
『会議に付した事件と会議結果など』			
<p>1 開 会 委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明。</p> <p>2 議 件 (1) 審査事項 ア 陳情第23号「規制改革会議意見書の取扱いに関する意見書」の提出を求める陳情について 事務局次長より資料を説明。</p> <p>○討論 ・柴田委員：JAがあるからこそ、農業者が安定した経営を行うことができる。その根幹を揺るがすようなことは認められない。陳情提出後に規制改革会議から答申書が出されたが、陳情の趣旨は変わらず、願意は妥当である。</p>			

- ・齋藤委員：農業委員会の見直し、農業生産法人の要件緩和については、問題があると考ええる。住民、地域農業のあり方を変容させかねない答申の取扱いには、慎重になるべき。願意は妥当。
- ・小椋委員：陳情提出後に規制改革会議からの答申が出されたが、陳情の趣旨は答申の内容にも通じるものであり、願意は妥当。
- ・正村委員：答申書内容は、中央の考えであり、地域の実情に合わせた改革であるべき。農協が地域で果たしている役割は大きい。願意は妥当。

○採決

全会一致により、採択するものと決定する。

○意見書（案）について

事務局次長より説明。

→ 資料のとおり決定する。

(2) 調査事項

ア TPP協定交渉から十勝を守り抜く決議について

事務局次長より資料を説明。

→ 資料のとおり決定する。

イ 先進地事務調査報告について

事務局次長より資料を説明。

→ 資料のとおり決定する。

※以上3件については、いずれも6月定例会議最終日（6月24日）に陳情審査報告、意見書・決議の提案説明、委員会調査報告が委員長より行われるが、その報告・説明内容等については、24日本会議開催前に全委員で確認する。

3 その他

(1) 次回委員会開催日程 平成26年7月16日（水）13:00～

(2) その他

なし

以上をもって、閉会する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	合計	0名
記載のとおり報告する。						
平成26年6月18日						
経済常任委員会委員長 常 通 直 人						